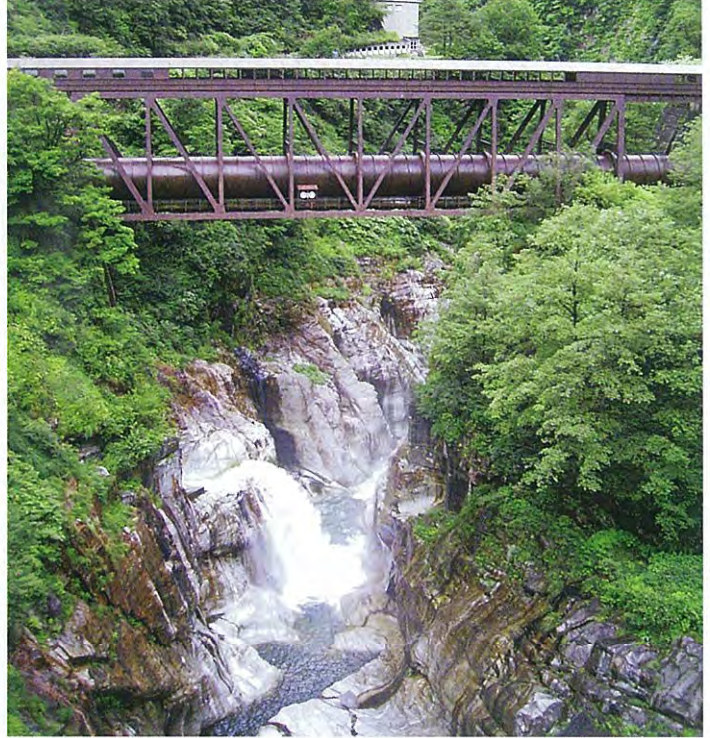


第5回ハットン シンポジウム紙上巡検記

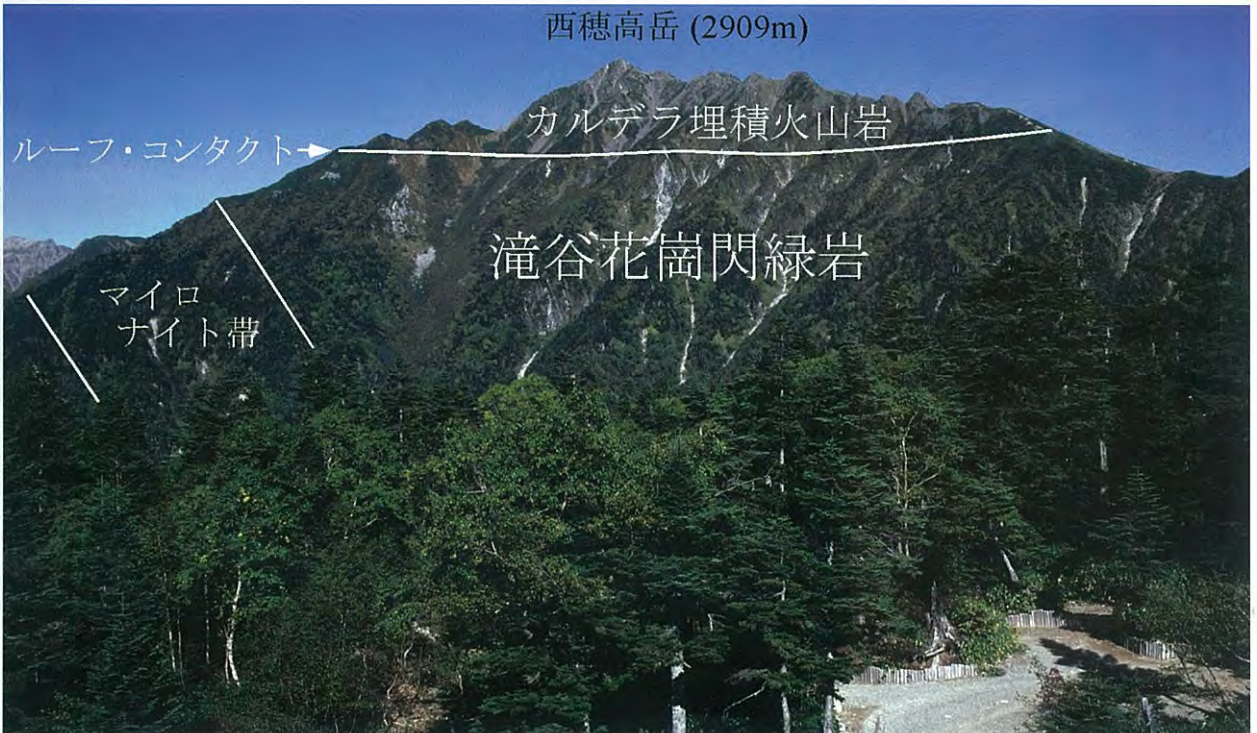
<石原舜三・原山 智・谷 健一郎・吉倉紳一・中島 隆・高木哲一・高橋 浩・仲井 豊>



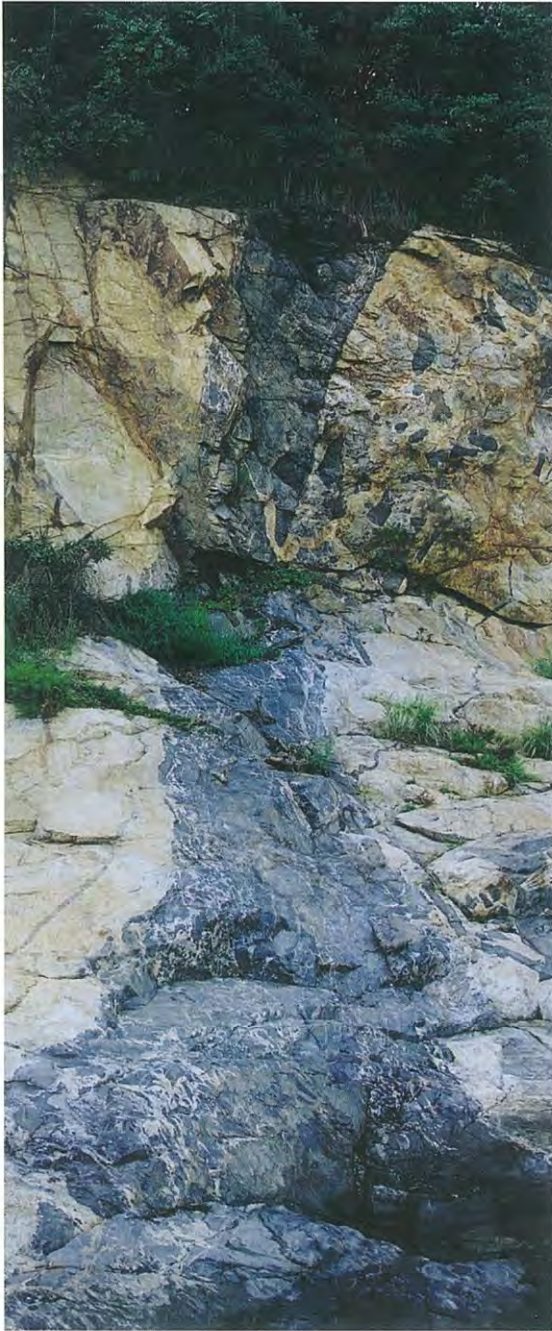
1. 岡山市内, 万成の万成石(等倍, A3巡検, 石原).



2. 仙人谷ダムから望む黒部川, 下の廊下. 河床は黒部川花崗岩の下部岩相. 鉄橋は関西電力専用上部軌道と黒部川第四発電所の放水管(A1巡検, 谷).



3. 西穂高岳直下のカルデラ埋積火山岩と滝谷花崗閃緑岩. 一部にはマイロナイト帯が発達(A1巡検, 原山).



4. (上) 鳥弧の花崗岩類の生成には苦鉄質マグマが深く係わっている。暗色のシンプルトニック岩脈は深部からの苦鉄質マグマの供給路である (A3 巡検, Stop 7, 吉倉).



5. 珪長質マグマ溜中に重力沈降したと思われる斑れい岩マグマ (A3 巡検, Stop 19, 吉倉).



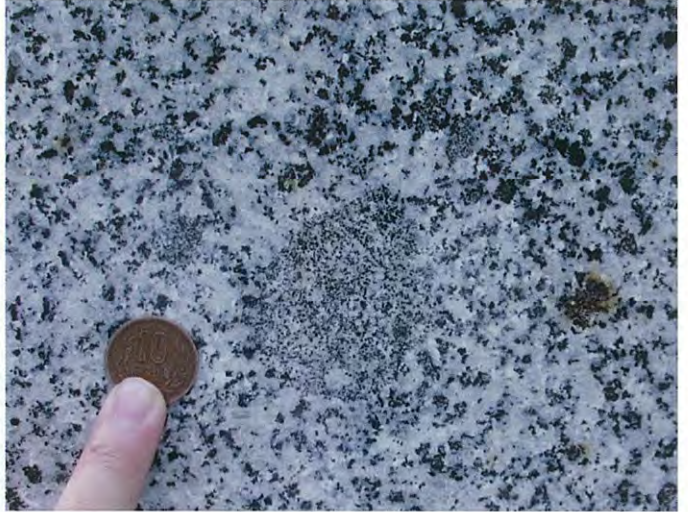
6. 斑れい岩中の不均質閃緑岩。上方に珪長質パイプが伸びる (A3, Stop 17, 吉倉).



7. (右) 柳井領家帯, 深部貫入型の蒲野花崗閃緑岩における苦鉄質マグマの混交。北大島ヒラレ鼻 (A2 巡検, 中島).



8. 直径数cm～数十cmの暗色包有物を大量に含有する黒部川花崗岩の中部岩相. 関西電力のトンネル内の露頭(A1巡検, 作廓谷, 谷).



9. 大隅岩体の苦鉄質～堆積性包有物. マトリックスが白色のマグマ残液である点に注目(A4巡検, 大隅岩体, 高木).

10. 大隅岩体の包有物のゴースト: 苦鉄質火成岩, 堆積岩? 褐色は磁硫鉄鉱とその酸化被膜(A4巡検, 高木).



11. 豊川に露出する領家帯の新城トンネル岩類の見学(M1巡検, 高橋).



12. 花崗岩は堆積岩成分も取り込む. その量は大隅花崗岩や武節花崗岩のような大岩体で $\delta^{18}O$ 値により最大55%程度と見積もられている. 写真は溶け残りと思われる大隅岩体の片麻岩レスタイトで, 珪線石(中央灰色, 針状)のほかスピネルが川野良信氏によって同定されている (A4巡検, 大隅岩体, 大串, 石原).



13. 最高級墓石材, 庵治石, その起源物質に堆積岩を多く含む (A3巡検, Stop 4, 石原).



14. 大隅岩体中の脈状に連なる堆積岩源包有物 (A4巡検, 高木).



15. 源岩の堆積構造を残しつつ花崗岩に変化した変成チャート. 一種の交代作用 (A2巡検, 屋代島日見岬, 中島).



16. 堆積岩成分を多く含む武節白雲母-黒雲母花崗岩の縞状組織とレスタイト. 源岩の不均一性を反映か? (M2巡検, 中根石材, 石原).



17. 讃岐の安山岩. 瀬戸内地方の白亜紀花崗岩地帯には中新世の火山岩類が分布し、サヌカイトや良い音色を出すことから「かんかん石」として知られている. 高Mg安山岩の存在で著名であるが、流紋岩質岩も存在する. この安山岩で作られた石琴は、大正天皇やベルリンフィルハーモニーに献上された(本誌no.454, 30-31頁参照).

この露頭は風化花崗岩(右下)を不整合に覆って火砕岩(褐色部)、上部の溶岩へと続く様子が良く解る素晴らしいものである(A3巡検, Stop3, 以下石原).



18. 権現鼻の流紋岩質角礫岩. 爆裂性? (A3巡検, Stop20).



19. 栗林公園内の安山岩の柱状節理(A3巡検).



20. ガラス質の音色の良い部分で作られた石琴(A3巡検).



21. 万成花崗岩で作った石笛を吹奏する桐山隆山氏と聞き惚れる聴衆(A3巡検, 石原).



22. 約300年前の酒蔵を改造した長善館の夕食風景. 箸しかない点に注目. 右は参加者に配られた丸石醸造(株)の好意によるロゴマーク入り2合瓶(M2巡検, 仲井).



23. M2巡検の参加者達, 茅原沢の領家変成岩露頭にて(M2巡検, Stop 6, 仲井).